

品質管理

(目視検査)

この項目では、登録したデータセットの目視検査を実施するためのマップの準備や、マップの起動方法などについて説明しています。

目 次

1. 目視検査画面	2
2. マップ準備	4
3. データセット変換	6
4. 主題図設定	7
5. メッシュ作成	9
6. マップの起動	10
7. エラー可視化機能	11

1. 目視検査画面

3D 都市モデルの目視検査を実施するには、データをプロジェクトに登録している必要があります。データをプロジェクトに登録していない場合は、ユーザーガイドの「品質管理（プロジェクト管理～論理検査）」を参考に登録を完了してください。

データの登録が完了したら、プロジェクト一覧画面より「目視検査」をクリックします。



目視検査画面では、「検査内容」と「検査準備」、「検査一覧」の項目が表示されます。目視検査を実施するには、検査の前に検査準備（マップ準備、データセット変換、主題図設定、メッシュ生成）を実行する必要があります。

目視検査

検査内容

検査No.	品質要素	品質適用範囲
C04	完全性・過剰/漏れ	参照データに存在しないのに地物インスタンスが存在する場合、あるいは参照データに存在するのに地物インスタンスが存在しない場合を目視確認します。
T01	主題正確度・分類の正しさ	インスタンスに設定された主題属性「分類」（urf:class）が識別できるように検査単位の範囲に含まれるインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。
T02	主題正確度・分類の正しさ	インスタンスに設定された主題属性「機能」（urf:function）及び「用途」（gen:usage）が識別できるように表示し、参照データに含まれるデータと比較します。
T03	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml::MeasureOrNullListTypeまたは、gml:StringOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。
T04	主題正確度・定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:integer、xs:nonNegativeInteger、xs:double、gml::MeasureType、gml:LengthTypeまたはgml::MeasureOrNullListTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。

検査準備

項目	説明	操作
マップ準備	目視検査用のマップを作成します。	マップ作成
データセット変換	データセットをマップ描画用のデータに変換して、マップに登録します。	データセット変換
主題図設定	品質を検査するための主題図を設定します。	主題図設定
メッシュ生成	検査に使用するメッシュ（500m）とサブメッシュ（50m）を生成します。	メッシュ生成

検査一覧

検査準備を実施してください。

[プロジェクト一覧に戻る](#)

2. マップ準備

目視検査用のマップを作成するために、「検査準備」にある「マップの作成」をクリックします。

カテゴリ

- ユーザーガイド
- データセット管理（データ入力支援）
- 品質管理（3D都市モデル検証）
- オープンデータ化支援
- マップ管理（閲覧支援）

検査準備

項目	説明	操作
マップ準備	目視検査用のマップを作成します。	マップ作成
データセット変換	データセットをマップ描画用のデータに変換して、マップに登録します。	データセット変換
主題図設定	品質を検査するための主題図を設定します。	主題図設定
メッシュ生成	検査に使用するメッシュ（500m）とサブメッシュ（50m）を生成します。	メッシュ生成

検査一覧

検査準備を実施してください。

[プロジェクト一覧に戻る](#)

データセットの確認画面が表示されます。対象のデータセットを確認して、「マップ作成（マップの確認）」ボタンをクリックします。

マップ作成（データセットの確認）

次のデータセットについて、目視検査用のマップを作成します。よろしければ確認ボタンを押してください。

地物	データセット番号	データセット名	備考
建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面	2	*_bldg_4612.xml	

マップ作成（マップの確認）

目視検査に戻る

プロジェクト一覧に戻る

「マップ作成（マップの確認）」画面が表示されます。作成されるマップを確認して、最下部の「マップ作成実行」ボタンをクリックします。この操作は属性項目の設定が完了してから行なう必要があります。属性項目の設定が終わっていない場合、対象欄に「対象が見つかりません」と表示されます。属性を保有しているのに対象が見つからない場合は、属性項目の設定の内容（論理検査編に記載）を確認してください。

カテゴリー

ユーザーガイド

データセット管理（データ入力支援）

品質管理（3D都市モデル検証）

オープンデータ化支援

マップ管理（閲覧支援）

マップ作成（マップの確認）

次の目視検査用のマップを作成します。よろしければ実行ボタンを押してください。

建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面

検査No.	品質要素	品質適用範囲	対象
C04	完全性・過剰/漏れ	参照データに存在しないのに地物インスタンスが存在する場合、あるいは参照データに存在するのに地物インスタンスが存在しない場合を目視確認します。	地物インスタンス
T03	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml::MeasureOrNullListTypeまたは、gml:StringOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	都市計画区域（区分）
T04	主題正確度・定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:integer、xs:nonNegativeInteger、xs:double、gml::MeasureType、gml:LengthTypeまたはgml::MeasureOrNullListTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	建築面積（50㎡単位）

マップ作成実行

目視検査に戻る

プロジェクト一覧に戻る

マップ作成実行画面が表示され、マップ作成が終了します。「目視検査に戻る」ボタンをクリックして、目視検査画面に戻ります。

HOME / 品質管理（3D都市モデル検証） / プロジェクト一覧

カテゴリー

ユーザーガイド

データセット管理（データ入力支援）

品質管理（3D都市モデル検証）

オープンデータ化支援

マップ作成実行

目視検査用のマップの作成を開始しました。

終了しました。

目視検査に戻る

プロジェクト一覧に戻る

3. データセット変換

アップロードしたファイルをマップに表示するためにデータセットの変換をします。目視検査画面の「検査準備」にある「データセット変換」ボタンをクリックします。

カテゴリー

[ユーザーガイド](#)
[データセット管理（データ入力支援）](#)
[品質管理（3D都市モデル検証）](#)
[オープンデータ化支援](#)
[マップ管理（閲覧支援）](#)

検査準備

項目	説明	操作
マップ準備	目視検査用のマップを作成します。	マップ作成
データセット変換	データセットをマップ描画用のデータに変換して、マップに登録します。	データセット変換
主題図設定	品質を検査するための主題図を設定します。	主題図設定
メッシュ生成	検査に使用するメッシュ（500m）とサブメッシュ（50m）を生成します。	メッシュ生成

検査一覧

建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面

検査No.	品質要素	品質適用範囲	対象	検査回数	検査日時
C04	完全性・過剰/漏れ	参照データに存在しないのに地物インスタンスが存在する場合、あるいは参照データに存在するのに地物インスタンスが存在しない場合を目視確認します。	都市計画区域（区分）		0000-00-00 00:00:00

データセット変換画面が表示されます。データセットを確認して、「データセット変換実行」ボタンをクリックします。

データセット変換

次のデータセットについて、マップに表示するためのデータセットの変換をします。よろしければ実行ボタンを押してください。

地物	データセット番号	データセット名	備考
建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面	2	*_bldg_4612.xml	

データセット変換実行

目視検査に戻る

プロジェクト一覧に戻る

データセット変換実行画面が表示され、データセットの変換が完了します。「目視検査に戻る」ボタンをクリックして、目視検査画面に戻ります。

HOME / 品質管理（3D都市モデル検証） / プロジェクト一覧

カテゴリー

ユーザーガイド

データセット管理（データ入力支援）

品質管理（3D都市モデル検証）

オープンデータ化支援

マップ管理（閲覧支援）

データセット変換実行

マップに表示するためのデータセットの変換を開始しました。

3dTilesへの変換を開始しました。

Done.

成功しました。

終了しました。

目視検査に戻る

プロジェクト一覧に戻る

負荷が大きい処理はキューで待機となる場合がありますが、バックグラウンド処理一覧から状況を確認することができます。

4. 主題図設定

変換したデータセットに色塗り表示をするため、主題図設定を行います。目視検査画面の「検査準備」にある「主題図設定」ボタンをクリックします。

カテゴリー

ユーザーガイド

データセット管理（データ入力支援）

品質管理（3D都市モデル検証）

オープンデータ化支援

マップ管理（閲覧支援）

検査準備

項目	説明	操作
マップ準備	目視検査用のマップを作成します。	マップ作成
データセット変換	データセットをマップ描画用のデータに変換して、マップに登録します。	データセット変換
主題図設定	品質を検査するための主題図を設定します。	主題図設定
メッシュ生成	検査に使用するメッシュ（500m）とサブメッシュ（50m）を生成します。	メッシュ生成

検査一覧

建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面

検査No.	品質要素	品質適用範囲	対象	検査回数	検査日時
C04	完全性・過剰/漏れ	参照データに存在しないのに地物インスタンスが存在する場合、あるいは参照データに存在するのに地物インスタンスが存在しない場合を目視確認します。	都市計画区域（区分）		0000-00-00 00:00:00

「主題図設定」画面が表示されます。主題図の設定方法を確認して、ページ最下部にある「主題図設定実行」ボタンをクリックします。データセット変換が完了していない場合、「主題図設定実行」ボタンはクリックできません。クリックできない場合は、先にデータセット変換を完了してください。

カテゴリー

- ユーザーガイド
- データセット管理
(データ入力支援)
- 品質管理 (3D都市モデル検証)
- オープンデータ化支援
- マップ管理 (閲覧支援)

主題図設定

次の検査項目について、主題図を設定します。よろしければ実行ボタンを押してください。

建築物 (LOD1、LOD2)、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面

検査No.	品質要素	品質適用範囲	対象	主題図の設定方法
C04	完全性・過剰/漏れ	参照データに存在しないのに地物インスタンスが存在する場合、あるいは参照データに存在するのに地物インスタンスが存在しない場合を目視確認します。	都市計画区域 (区分)	対象外
T03	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml:MeasureOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	都市計画区域 (区分)	属性値によるスタイルを設定 (種類が多い場合は対象外)
T04	主題正確度・定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:integer、xs:nonNegativeInteger、xs:double、gml:MeasureType、gml:LengthTypeまたはgml:MeasureOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	敷地面積 (50 m ² 単位)	属性の範囲によるスタイルを設定
T04	主題正確度・定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:integer、xs:nonNegativeInteger、xs:double、gml:MeasureType、gml:LengthTypeまたはgml:MeasureOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	建築面積 (50 m ² 単位)	属性の範囲によるスタイルを設定

主題図設定実行

目視検査に戻る

プロジェクト一覧に戻る

主題図設定実行画面が表示され、主題図の設定が完了します。「目視検査に戻る」ボタンをクリックして、目視検査画面に戻ります。

HOME / 品質管理 (3D都市モデル検証) / プロジェクト一覧

カテゴリー

- ユーザーガイド
- データセット管理
(データ入力支援)
- 品質管理 (3D都市モデル検証)
- オープンデータ化支援
- マップ管理 (閲覧支援)

主題図設定実行

主題図の設定を開始しました。

終了しました。

目視検査に戻る

プロジェクト一覧に戻る

5. メッシュ作成

検査単位となるメッシュ、サブメッシュの生成をします。目視検査画面の「検査準備」にある「メッシュ生成」ボタンをクリックします。

カテゴリー

- ユーザーガイド
- データセット管理（データ入力支援）
- 品質管理（3D都市モデル検証）
- オープンデータ化支援
- マップ管理（閲覧支援）

検査準備

項目	説明	操作
マップ準備	目視検査用のマップを作成します。	マップ作成
データセット変換	データセットをマップ描画用のデータに変換して、マップに登録します。	データセット変換
主題図設定	品質を検査するための主題図を設定します。	主題図設定
メッシュ生成	検査に使用するメッシュ（500m）とサブメッシュ（50m）を生成します。	メッシュ生成

検査一覧

建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面

検査No.	品質要素	品質適用範囲	対象	検査回数	検査日時
C04	完全性・過剰/漏れ	参照データに存在しないのに地物インスタンスが存在する場合、あるいは参照データに存在するのに地物インスタンスが存在しない場合を目視確認します。	都市計画区域（区分）		0000-00-00 00:00:00

メッシュ生成画面が表示されます。対象となるデータセットを確認して、「メッシュ生成実行」ボタンをクリックします。

メッシュ生成

次のデータセットについて、検査用のメッシュを生成します。よろしければ実行ボタンを押してください。

地物	データセット番号	データセット名	備考
建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面	2	*_bldg_4612.xml	

メッシュ生成実行

目視検査に戻る

プロジェクト一覧に戻る

メッシュ生成実行画面が表示され、メッシュの生成が完了します。「目視検査に戻る」ボタンをクリックして、目視検査画面に戻ります。

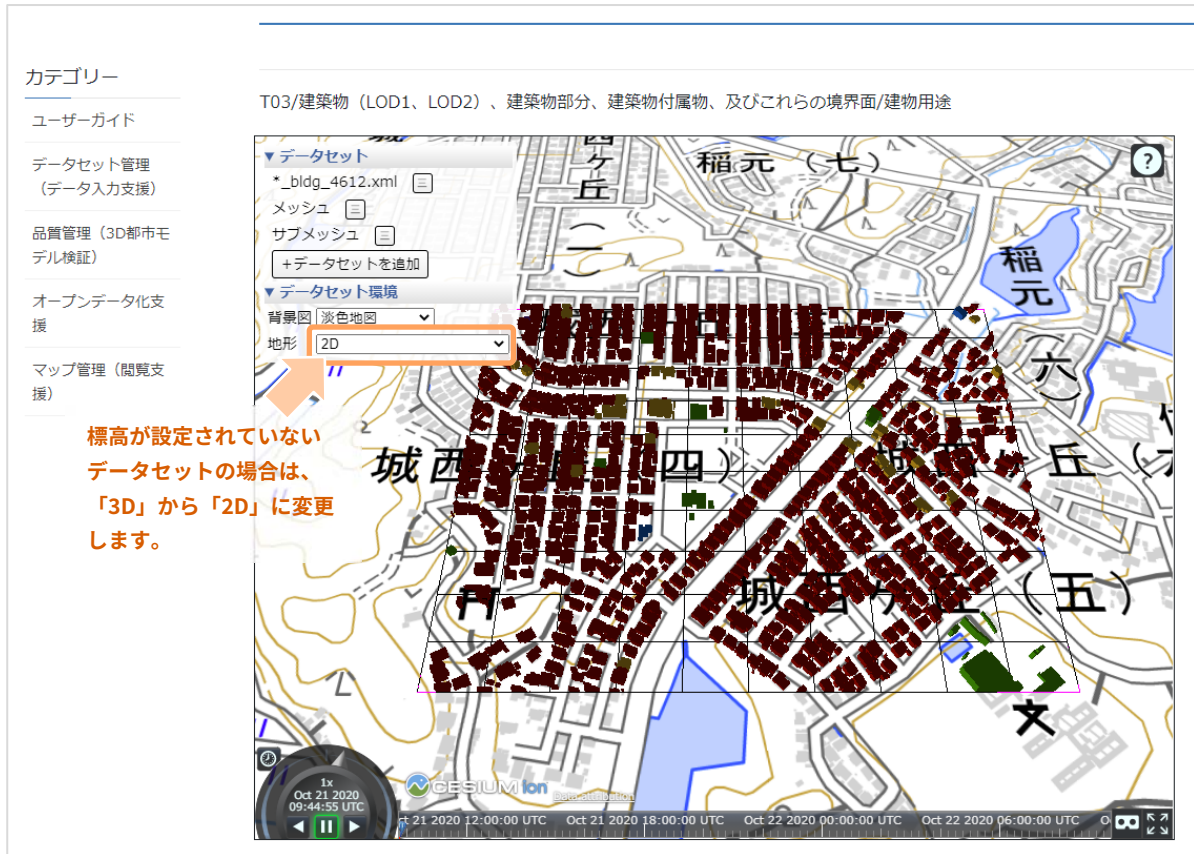


6. マップの起動

検査準備が完了したら、マップを起動します。目視検査画面の「検査一覧」から、検査 No. ごとに「マップ」ボタンをクリックします。ここでは、検査 No. 「T03」の「建物用途」をクリックします。

検査一覧		建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面				
検査No.	品質要素	品質適用範囲	対象	検査回数	検査日時	マップ
C04	完全性・過剰/漏れ	参照データに存在しないのに地物インスタンスが存在する場合、あるいは参照データに存在するのに地物インスタンスが存在しない場合を目視確認します。	都市計画区域（区分）		0000-00-00 00:00:00	マップ
T03	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml::MeasureOrNullListTypeまたは、gml:StringOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	都市計画区域（区分）		0000-00-00 00:00:00	マップ
T03	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml::MeasureOrNullListTypeまたは、gml:StringOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	区域区分		0000-00-00 00:00:00	マップ
T03	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml::MeasureOrNullListTypeまたは、gml:StringOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	建物用途		0000-00-00 00:00:00	マップ

画面にマップが表示されます。標高が設定されていないデータセットは地形に隠れてしまいますので、マップ左上にあるメニューの「データセット環境」の「地形」を「2D」に変更してください。



7. エラー可視化機能

エラー可視化機能では、地物の属性をメッシュ毎に集計し、グラフを表示します。エラー（異常値）がある場合はグラフに異常値が表現されます。属性を集計してグラフで表現することで、入力した属性に異常値がないかを確認します。



地物の属性をメッシュ毎に集計するため、まずは集計するためのフォーマットに変換します。
「CityGML を内部データセットに変換」ページにある内部データセットへ変換をクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / CityGMLを内部データセットに変換

カテゴリー

- ユーザーガイド
- データセット管理（データ入力支援）
- 品質管理（3D都市モデル検証）
- オープンデータ化支援
- マップ管理（閲覧支援）

データセット一覧

データセットID	データセット名	フォーマット	内部データセットへ変換
53	53394629_bldg_6697	CityGML(iur)	内部データセットへ変換
55	53394629_bldg_6697_内部データセット_citygml	CityGML	内部データセットへ変換
68	*_bldg_6697.gml	CityGML(iur)	内部データセットへ変換
74	*_bldg_6697.gml_内部データセット_citygml	CityGML	内部データセットへ変換
79	BUI_内部データセット_citygml	CityGML	内部データセットへ変換

データセットのうち、ファイルフォーマットが CityGML であるデータセットを表示しています

「内部データセットへ変換確認」画面が表示されます。対象となるデータセットを確認して、「属性項目の設定」ボタンをクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / CityGMLを内部データセットに変換

カテゴリー

- ユーザーガイド
- データセット管理（データ入力支援）
- 品質管理（3D都市モデル検証）
- オープンデータ化支援
- マップ管理（閲覧支援）

内部データセットへ変換確認

次のデータセットを内部データセットへ変換します。よろしければ実行ボタンを押してください。

データセットID	79
データセット名	BUI_内部データセット_citygml
フォーマット	CityGML

属性項目の設定

一覧に戻る

「フィールド名」、「型」、「桁」、「属性名称」、「単位」を設定して、「内部データセットへ変換確認」ボタンをクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / CityGMLを内部データセットに変換

カテゴリ

- ユーザーガイド
- データセット管理（データ入力支援）
- 品質管理（3D都市モデル検証）
- オープンデータ化支援
- マップ管理（閲覧支援）

属性項目の設定

属性項目を設定してください。

データセットID: 79

データセット名: BUL内部データセット_citygml

タグ名称	フィールド名	型	桁	属性名称	単位	属性値（サンプル）	コード
gml:id	gml_id	VARCHAR	100	gml_id		BUL.711	
bldg:lod1Solid	the_geom	GEOMETR	5970	空間データ		...	
gen:value	gen_val	VARCHAR	100	市区町村コード		220	
gen:value	gen_val2	VARCHAR	100	建物用途の種類		2	
gen:value	gen_val3	DOUBLE	100	地上階数		1	
gen:value	gen_val4	VARCHAR	100	建物構造の種類		2	
gen:value	gen_val5	INT	100	1階床面積		800	
gen:value	gen_val6	DOUBLE	100	地下階数		0	
gen:value	gen_val7	INT	100	延床面積		800	

内部データセットへ変換確認 一覧に戻る

「内部データセットへ変換確認」画面が表示されます。内容を確認して、問題がなければ「バックグラウンドで実行」ボタンをクリックします。内容を修正する必要がある場合は、「属性の設定に戻る」ボタンをクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / CityGMLを内部データセットに変換

カテゴリ

- ユーザーガイド
- データセット管理（データ入力支援）
- 品質管理（3D都市モデル検証）
- オープンデータ化支援
- マップ管理（閲覧支援）

内部データセットへ変換確認

次の設定で内部データセットへ変換します。よろしければ実行ボタンを押してください

データセットID: 79

データセット名: BUL内部データセット_citygml

属性の設定内容

タグ名称	フィールド名	型	桁	属性名称	単位	属性値（サンプル）	コード
gml:id	gml_id	VARCHAR	100	gml_id		BUL.711	
bldg:lod1Solid	the_geom	GEOMETRY	5970	空間データ		...	
gen:value	gen_val	VARCHAR	100	市区町村コード		220	
gen:value	gen_val2	VARCHAR	100	建物用途の種類		2	
gen:value	gen_val3	DOUBLE	100	地上階数		1	
gen:value	gen_val4	VARCHAR	100	建物構造の種類		2	
gen:value	gen_val5	INT	100	1階床面積		800	
gen:value	gen_val6	DOUBLE	100	地下階数		0	
gen:value	gen_val7	INT	100	延床面積		800	

バックグラウンドで実行 属性の設定に戻る 一覧に戻る

設定内容に問題がないか確認をします。

修正が必要な場合はここをクリックしてひとつ前の画面に戻ります。

内部データセットへ変換が実行されます。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / CityGMLを内部データセットに変換

カテゴリー

- ユーザーガイド
- データセット管理（データ入力支援）
- 品質管理（3D都市モデル検証）
- オープンデータ化支援
- マップ管理（閲覧支援）

内部データセットへ変換実行（バックグラウンド処理）

データセットを内部データセットへ変換について、バックグラウンド処理に登録しました。

1件登録しました。

[一覧に戻る](#)

変換した内部データセットを 3D グラフに集計します。サイトの左側にあるカテゴリーの「データセット管理」をクリックし、表示された画面の「内部データセットを 3D グラフに集計」をクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援）

カテゴリー

- ユーザーガイド
- データセット管理（データ入力支援）
- 品質管理（3D都市モデル検証）
- オープンデータ化支援
- マップ管理（閲覧支援）

データセット管理（データ入力支援）	データセット一覧
データセット管理（データ入力支援）	CityGMLを内部データセットに変換
データセット管理（データ入力支援）	基礎地図情報（GML）を内部データセットに変換
データセット管理（データ入力支援）	GMLを内部データセットに変換
データセット管理（データ入力支援）	CSVを内部データセット（属性）に変換
データセット管理（データ入力支援）	内部データセットをCityGMLに変換
データセット管理（データ入力支援）	内部データセットを3Dグラフに集計
データセット管理（データ入力支援）	内部データセットの高さの設定
データセット管理（データ入力支援）	内部データセットにCSV（内部データセット（属性））をインポート
データセット管理（データ入力支援）	バックグラウンド処理一覧

対象のデータセットの「3D グラフに集計」 ボタンをクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / 内部データセットを3Dグラフに集計

カテゴリー
ユーザーガイド
データセット管理（データ入力支援）
品質管理（3D都市モデル検証）
オープンデータ化支援
マップ管理（閲覧支援）

データセット一覧（内部データセットを3Dグラフに集計）

データセット ID	データセット名	フォーマット	3Dグラフに集計
66	FG-GML-503053-BldA-20200401-0001_2_内部データセット_属性結合	内部データセット	3Dグラフに集計
69	*_bldg_6697.gml_属性項目設定	内部データセット	3Dグラフに集計
71	*_bldg_6697.gml_メッシュ	内部データセット	3Dグラフに集計
72	*_bldg_6697.gml_サブメッシュ	内部データセット	3Dグラフに集計
73	*_bldg_6697.gml_内部データセット	内部データセット	3Dグラフに集計
75	FG-GML-503053-BldA-20200401-0001_2_内部データセット	内部データセット	3Dグラフに集計
76	FG-GML-503053-BldA-20200401-0001_2_内部データセット_属性結合	内部データセット	3Dグラフに集計
78	BUI_内部データセット	内部データセット	3Dグラフに集計
84	BUI_内部データセット_citygml_内部データセット	内部データセット	3Dグラフに集計
85	BUI_内部データセット_citygml_内部データセット	内部データセット	3Dグラフに集計

データセットのうち、ファイルフォーマットが 内部データセット であるデータセットを表示しています

データセットの確認画面が表示されます。確認後、「集計の設定」 ボタンをクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / 内部データセットを3Dグラフに集計

カテゴリー
ユーザーガイド
データセット管理（データ入力支援）
品質管理（3D都市モデル検証）
オープンデータ化支援
マップ管理（閲覧支援）

データセットの確認（内部データセットを3Dグラフに変換）

次のデータセットについて、3Dグラフに変換します。よろしければ設定ボタンを押してください。

データセットID	85
データセット名	BUI_内部データセット_citygml_内部データセット
フォーマット	内部データセット

[集計の設定](#) [一覧に戻る](#)

集計の設定画面が表示されます。「高さ」、「高さの倍率」、「メッシュコード」を設定します。
集計について設定後、「設定の確認」ボタンをクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / 内部データセットを3Dグラフに集計

カテゴリ

- ユーザーガイド
- データセット管理（データ入力支援）
- 品質管理（3D都市モデル検証）
- オープンデータ化支援
- マップ管理（閲覧支援）

集計の設定（内部データセットを3Dグラフに変換）

集計の設定を行い、設定後、確認ボタンを押してください。

高さ	1階床面積の合計
高さの倍率	0.05
色	色はマップの機能で設定します
メッシュコード	3次メッシュ

設定の確認 一覧に戻る

確認画面が表示されます。内容を確認して、「3D グラフに集計実行」ボタンをクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / 内部データセットを3Dグラフに集計

カテゴリ

- ユーザーガイド
- データセット管理（データ入力支援）
- 品質管理（3D都市モデル検証）
- オープンデータ化支援
- マップ管理（閲覧支援）

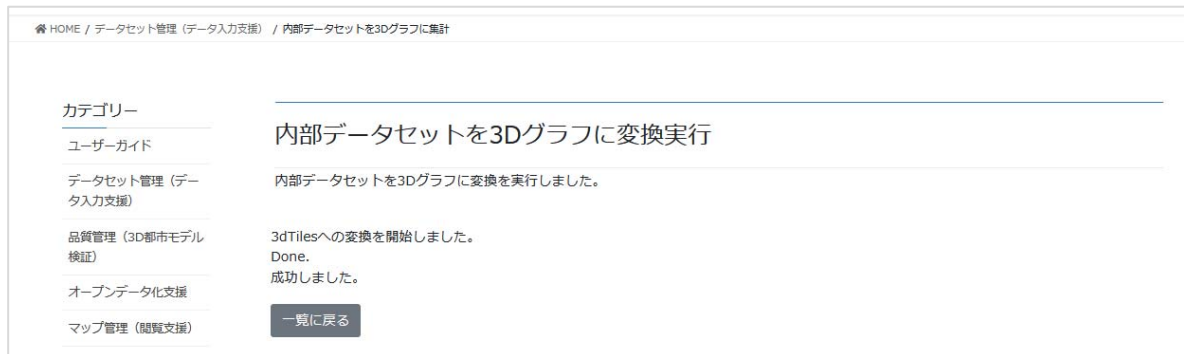
設定の確認（内部データセットを3Dグラフに変換）

集計に関する設定内容を確認して、実行ボタンを押してください。

高さ	1階床面積の合計
高さの倍率	0.05
色	色はマップの機能で設定します
メッシュコード	3次メッシュ

3Dグラフに集計実行 集計の設定に戻る 一覧に戻る

内部データセットを 3D グラフに変換が実行されます。



3D グラフをマップで確認する手順は、ユーザーガイドの「マップの操作について」を確認してください。

負荷が大きい処理はキューで待機となる場合がありますが、バックグラウンド処理一覧から状況を確認することができます。